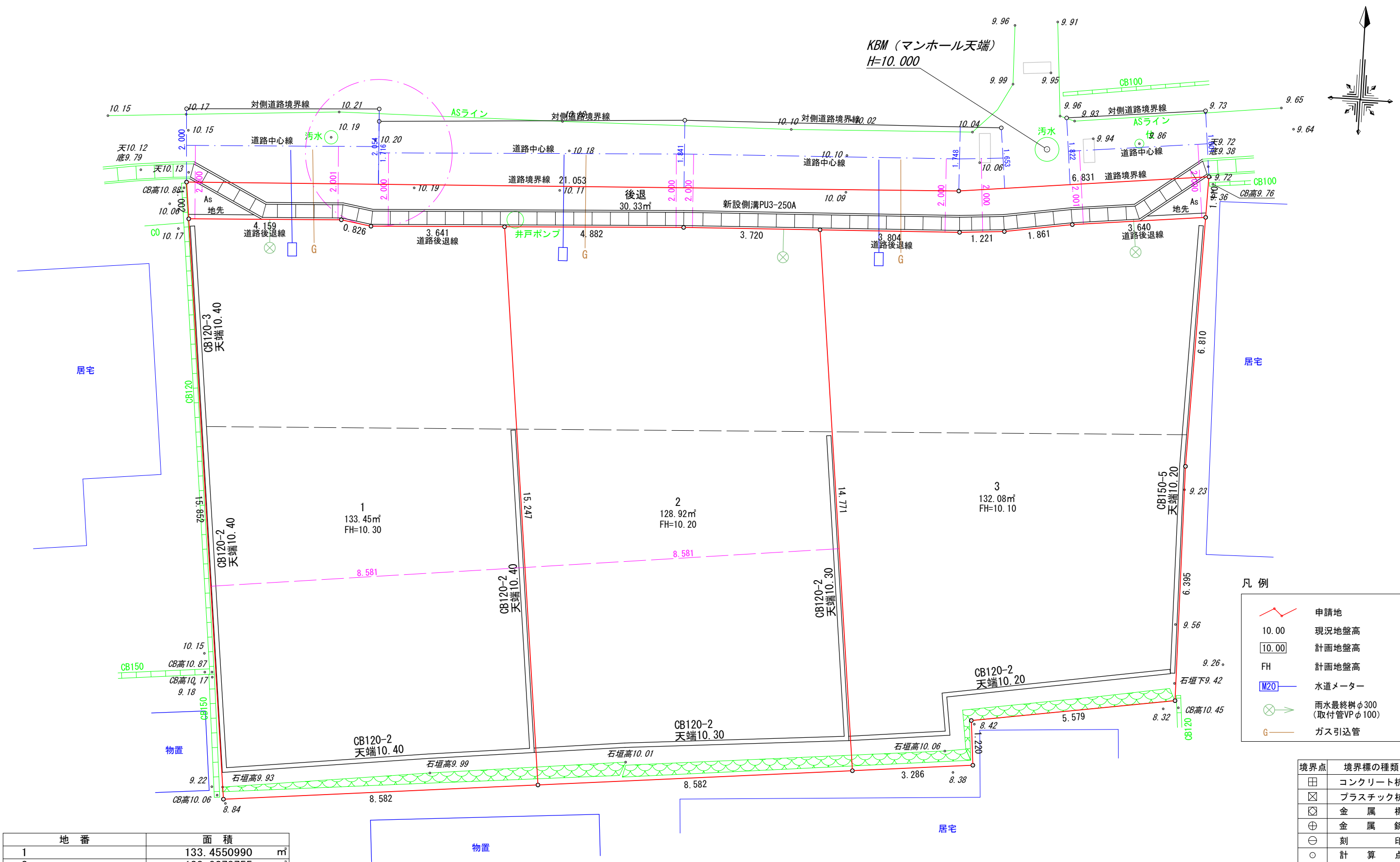




地番	面積	
1	133.4550990	m ²
2	128.9278755	m ²
3	132.0834665	m ²
後退	30.3348750	m ²

総合計面積	424.8013160	m ²
-------	-------------	----------------

凡例	
	申請地
10.00	現況地盤高
	計画地盤高
FH	計画地盤高
	水道メーター
	雨水最終樹φ300 (取付管VPφ100)
G	ガス引込管

境界点	境界線の種類
	コンクリート杭
	プラスチック杭
	金属標
	金属鉋
	刻印
	計算点

道路後退線は役所協議により変更の可能性があります。

図面作成者 愛知県岡崎市竜美旭町12番地11 池淵測量設計事務所 池淵寛太	申請地 刈谷市泉田町大西51番1		図面番号 01
	作成年月日 令和 6 年 8 月 3 日	図面名称 計画平面図	
	縮尺 1/100		

地 番	51-1、51-15 51-16、51-17	地 積 測 量 図
土地の所在	刈谷市泉田町大西	

求 積 表

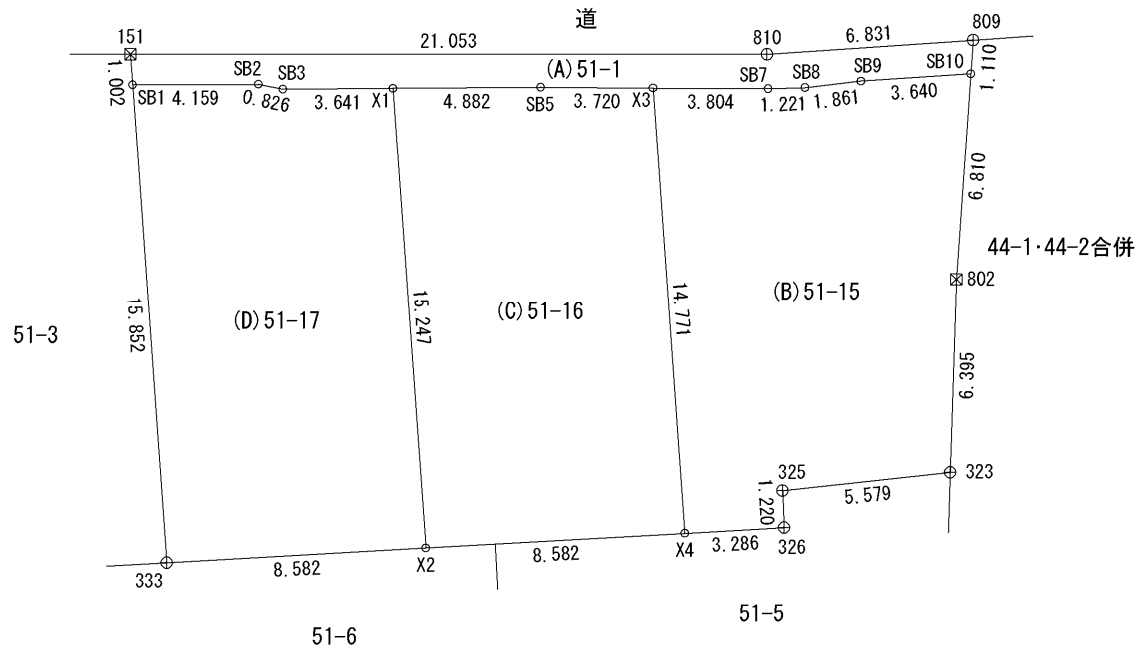
地 番	(A) 51-1			
NO	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距 離
151	-108460.193	-15274.510	2268119.556016	1.002
SB1	-108461.189	-15274.392	-463346.199408	4.159
SB2	-108460.973	-15270.238	-539159.496783	0.826
SB3	-108461.100	-15269.421	-482977.278300	3.641
X1	-108460.902	-15265.785	-923110.736922	4.882
SB5	-108460.636	-15260.910	-931893.784512	3.720
X3	-108460.485	-15257.193	-815405.926230	3.804
SB7	-108460.330	-15253.392	-544362.396270	1.221
SB8	-108460.236	-15252.174	-331454.481216	1.861
SB9	-108459.940	-15250.336	-591648.972700	3.640
SB10	-108459.531	-15246.719	-395009.611902	1.110
809	-108458.421	-15246.694	733287.384381	6.831
810	-108459.206	-15253.480	3016901.274096	21.053
合 計			-60.669750	
合 計 面 積			30.3348750	
地 積			30.33	m ²

地 番	(B) 51-15			
NO	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距 離
X3	-108460.485	-15257.193	223428.599100	14.771
X4	-108475.154	-15255.452	-543460.521540	3.286
326	-108474.814	-15252.183	-342454.987798	1.220
325	-108473.599	-15252.295	-585757.434600	5.579
323	-108472.735	-15246.783	-588247.641905	6.395
802	-108466.340	-15246.872	-6941.845760	6.810
SB10	-108459.531	-15246.719	375703.815384	3.640
SB9	-108459.940	-15250.336	591648.972700	1.861
SB8	-108460.236	-15252.174	331454.481216	1.221
SB7	-108460.330	-15253.392	544362.396270	3.804
合 計			-264.166933	
合 計 面 積			132.0834665	
地 積			132.08	m ²

地 番	(C) 51-16			
NO	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距 離
X1	-108460.902	-15265.785	333842.656356	15.247
X2	-108476.043	-15263.988	-1120882.952319	8.582
X4	-108475.154	-15255.452	-737088.671430	14.771
X3	-108460.485	-15257.193	591977.327130	3.720
SB5	-108460.636	-15260.910	931893.784512	4.882
合 計			-257.855751	
合 計 面 積			128.9278755	
地 積			128.92	m ²

地 番	(D) 51-17			
NO	Xn	Yn	Xn・(Yn+1-Yn-1)	距 離
SB1	-108461.189	-15274.392	247942.278054	15.852
333	-108476.931	-15272.524	-1128593.990124	8.582
X2	-108476.043	-15263.988	-731020.053777	15.247
X1	-108460.902	-15265.785	589268.080566	3.641
SB3	-108461.100	-15269.421	482977.278300	0.826
SB2	-108460.973	-15270.238	539159.496783	4.159
合 計			-266.910198	
合 計 面 積			133.4550990	
地 積			133.45	m ²

総合計面積	424.8013160	m ²
-------	-------------	----------------



測量年月日	令和6年10月17日
座標系	世界測地系 VII系

この測量図面は、世界測地系に基づく成果である。			
基準点の種類		座標系番号	
街区基準点		(VII) 系	
基準点の名称	標識の種類	X座標	Y座標
1 A 0 2 6 (街区多角節点)	金 属 鈑	-108275.402	-15223.149
1 A 0 2 7 (街区多角節点)	金 属 鈑	-108509.923	-15530.187

単位：m	
境界点	境界標の種類
田	コンクリート杭
田	プラスチック杭
田	金 属 標
田	鉄
田	刻 印
田	計 算 点

作成者	岡崎市竜美旭町12番地11 土地家屋調査士 池 渕 寛 太 (令和 6 年 1 0 月 1 8 日作成)	縮尺	1 / 250	申請人	シティーホーム株式会社 代表取締役 増田 直樹	縮尺	1 / 250
-----	--	----	---------	-----	----------------------------	----	---------



地番区域見出

泉田町大西

A 泉田町大西

請 求 部 分	所 在	刈谷市泉田町大西					地 番	51番1		
出 力 縮 尺	1/600	精 度 区 分		座 標 系 番 号 又 は 記 号		分 類	地図に準ずる図面		種 類	旧土地台帳附属地図
作 成 年 月 日	明治21年				備 付 年 月 日 (原図)	昭和53年2月28日		補 記 事 項		

施工に関する情報

● 調査敷地の情報

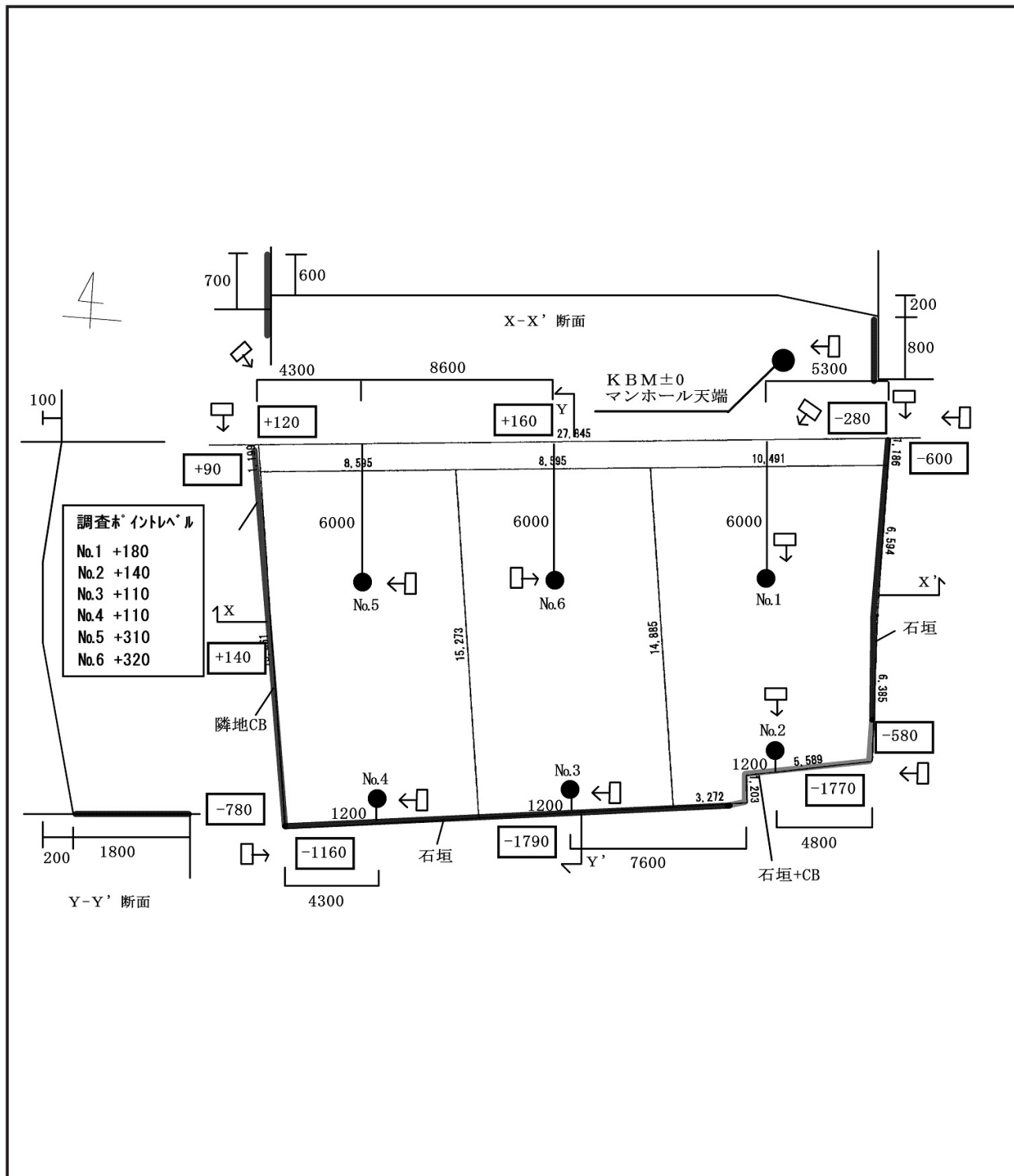
試験時の障害感 注1)	☒ 無	有	不明	
地下埋設物 注2)	無	☒ 有	不明	井戸 防空壕 樹根 瓦礫 水道管・ガス管・下水管 坑道 その他 ()
近接擁壁 注3)	無	☒ 有	不明	計画配置からの離隔が 2m 未満 2m 以上
擁壁底版 注4)	無	有	☒ 不明	計画配置下に 重なる 重ならない
地下水 注5)	無	有	☒ 不明	孔壁の崩落の為
湧水箇所 注5)	☒ 無	有	不明	
搬入車両 注6)	1t 車	☒ 2t 車	3t 車 4t 車 12t 車 不可	手運搬 ()m
敷地内搬入車両 注6)	1t 車	☒ 2t 車	3t 車 4t 車 12t 車 不可	手運搬
搬入障害 注6)	☒ 無	有	不明	ブロック塀 万年塀 板塀 大谷塀 生塀 門柱 法 カーポート 擁壁 その他 ()
高低差 注6)	道路面より +0.1~+0.5 m			
架空線等の障害 注6)	☒ 無	有	不明	
境界杭	無	☒ 有	不明	

⚠ 注意事項 設計及び施工に関する注意事項 (✓のついた項目が当物件に該当する注意事項です)

☐ 固化不良	セメント系固化材を使用した地盤補強工法を選択する場合、固化不良の発生が懸念される土が存在する可能性があります。事前に配合試験を行うか、または施工前の土質及びpHを確認し、固化材の種類や添加量などの検討を行う必要があります。
☐ 支持層及び摩擦力注意	新しい盛土がありますので、支持層の選定と摩擦力に留意した補強体の設計検討が必要になります。
☐ 支持層傾斜	支持層の傾斜が考えられますので、杭長検討時には注意が必要です。
☐ 地中障害 注1)	基礎工事や地盤補強工事施工中に地中障害物等が確認された場合には、障害物を撤去の上、埋戻し土に良質土(碎石等)を用い、軽圧不足とならぬ様に入念な締め固めをお願い致します。また、撤去時の掘削深度が基礎下から1m程度を超える場合は再調査・再検討が必要となる可能性があります。
☐ 空洞 注2)	地中に防空壕や坑道跡などと思われる空隙が確認された場合、設計・施工検討が必要となります。
☐ 擁壁土圧 注3)	施工位置と擁壁などが近接している場合、オーガー等の掘削の際に側方土圧の影響で擁壁に亀裂、目地の開口等変状が発生する可能性があるため、施工時には注意が必要です。
☐ 擁壁底版 注4)	建物と擁壁の底版の位置が干渉している場合、偏芯による対応が必要となる可能性があるため、基礎構造の安全性に関する検討が必要です。
☐ 近接構造物	境界ブロック等の近隣構造物が近い為、偏芯、基礎補強等の設計・施工検討等が必要となる可能性があります。
☐ 地下水 注5)	地下水位が高いもしくは地下水量が多いなどの理由により、地業補強やセメント系固化材を利用した補強の場合、地下水の排出や添加量の増量が必要な場合があります。
☐ 資機材搬入 注6)	狭小搬入路や敷地高低差、架空線等により資機材の搬入に支障をきたす場合があります。施工前に現場を確認の上、施工機や資機材の選定、もしくは前述提案以外の地盤補強となる可能性があります。
☐ 部分的な盛土や埋め戻し	新規擁壁の築造や法面の埋め戻しをする際、埋め戻し部分が基礎下にあたる箇所は、埋め戻し材に良質土を用いるか、固化材を添加(固化材添加50kg/m ² 以上、ただし土質、含水状況により固化材添加量を決定下さい)して、30cm以下の撒き出し厚で入念に締め固めて下さい。(厚さ1.5m以内)
☐ 調査後の切盛土	調査後に、切土や盛土を行いますと解析結果が変更となる可能性がありますので、その場合には必ずお知らせください。
☐ 碎石地業	基礎下の碎石地業時の締め固めを、タンピングランマーまたは振動ローラーにて3往復程度実施して下さい。

資料 調査敷地状況図

● 物件名称 センチュリーシティ刈谷市泉田町2区画 様邸



方向	土地利用状況	高低差	擁壁	法面	建物	変状の有無
東側	宅地	-1.0~-0.8 m	●		●	
南側	宅地	-2.0~-1.4 m	●		●	
西側	宅地	-1.0~-0.1 m			●	
北側	道路	-0.5~-0.1 m				

敷地内高低差

無

有

(

)m

試験結果

スクリーウエイト貫入試験 (旧スウェーデン式サウンディング試験)

物件名称		センチュリーシティ刈谷市泉田町2区画 様邸																	
調査場所		愛知県刈谷市泉田町大西5 1 番1																	
測点番号		001			調査年月日			2024年06月01日											
高低差		KBM +0.18 m			最終貫入深さ			8.25 m				試験者		斉藤 正志					
水位		不明			天候			晴				試験方法		機械式					
荷重 Wsw (KN)	半回 転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (Nsw)	記 事			推 定 柱状図	荷 重 Wsw(KN)				貫入量1m当りの半回転数 Nsw				換算 N値 Nc※1	許容 支持力 qa※2 (KN/m ²)	
					音感・感触	貫入状態	推定土質		0	0.25	0.50	0.75	1	50	100	150			200
1.00	0	0.25	25	0		ユックリ	砂質土										2.0	30.0	
0.75	0	0.50	25	0		ユックリ	砂質土										1.5	22.5	
0.75	0	0.75	25	0		ユックリ	砂質土										1.5	22.5	
1.00	5	1.00	25	20			砂質土										3.3	42.0	
1.00	11	1.25	25	44			砂質土										4.9	56.4	
1.00	9	1.50	25	36			砂質土										4.4	51.6	
1.00	7	1.75	25	28			砂質土										3.8	46.8	
1.00	8	2.00	25	32			砂質土										4.1	49.2	
1.00	11	2.25	25	44			砂質土										4.9	56.4	
1.00	17	2.50	25	68			砂質土										6.5	70.8	
1.00	32	2.75	25	128			砂質土										10.5	106.8	
1.00	37	3.00	25	148			砂質土										11.9	118.8	
1.00	40	3.25	25	160			砂質土										12.7	> 120	
1.00	28	3.50	25	112			砂質土										9.5	97.2	
1.00	6	3.75	25	24			砂質土										3.6	44.4	
1.00	62	4.00	25	248			砂質土										18.6	> 120	
1.00	55	4.25	25	220			砂質土										16.7	> 120	
1.00	20	4.50	25	80			砂質土										7.3	78.0	
1.00	11	4.75	25	44			砂質土										4.9	56.4	
1.00	13	5.00	25	52			砂質土										5.4	61.2	
1.00	10	5.25	25	40			砂質土										4.6	54.0	
1.00	13	5.50	25	52			砂質土										5.4	61.2	
1.00	13	5.75	25	52			砂質土										5.4	61.2	
1.00	26	6.00	25	104			砂質土										8.9	92.4	
1.00	78	6.25	25	312			砂質土										22.9	> 120	
1.00	48	6.50	25	192			砂質土										14.8	> 120	
1.00	51	6.75	25	204			砂質土										15.6	> 120	
1.00	96	7.00	25	384			砂質土										27.7	> 120	
1.00	19	7.25	25	76			砂質土										7.0	75.6	
1.00	11	7.50	25	44			砂質土										4.9	56.4	
1.00	12	7.75	25	48			砂質土										5.2	58.8	
1.00	12	8.00	25	48			砂質土										5.2	58.8	
1.00	120	8.25	25	480		打撃	砂質土										34.1	> 120	

※1 $N_c(\text{粘性土}) = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$ $N_c(\text{砂質土}) = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$

※2 $qa(Na=0)=30W_{sw} + 0.6N_{sw}$ $qa(Na>0)=30 + 0.6N_{sw}$ (N_{sw} は150を上限としています)

試験結果

スクリーウエイト貫入試験（旧スウェーデン式サウンディング試験）

物件名称		センチュリーシティー刈谷市泉田町2区画 様邸																
調査場所		愛知県刈谷市泉田町大西5 1 番1																
測点番号		002			調査年月日		2024年06月01日											
高低差		KBM +0.14 m			最終貫入深さ		6.15 m			試験者		斉藤 正志						
水位		不明			天候		晴			試験方法		機械式						
荷重 Wsw (KN)	半回 転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (Nsw)	記事			推定 柱状図	荷 重 Wsw(KN)				貫入量1m当りの半回転数 N s w				換算 N値 Nc※1	許容 支持力 qa※2 (KN/m ²)
					音感・感触	貫入状態	推定土質		0	0.25	0.50	0.75	1	50	100	150		
0.75	0	0.25	25	0		ストン	砂質土										1.5	22.5
0.75	0	0.50	25	0		ストン	砂質土										1.5	22.5
0.75	0	0.75	25	0		ユックリ	砂質土										1.5	22.5
1.00	7	1.00	25	28			砂質土										3.8	46.8
1.00	22	1.25	25	88			砂質土										7.8	82.8
1.00	23	1.50	25	92			砂質土										8.1	85.2
1.00	19	1.75	25	76			砂質土										7.0	75.6
1.00	22	2.00	25	88			砂質土										7.8	82.8
1.00	33	2.25	25	132			砂質土										10.8	109.2
1.00	17	2.50	25	68			砂質土										6.5	70.8
1.00	44	2.75	25	176			砂質土										13.7	> 120
1.00	40	3.00	25	160			砂質土										12.7	> 120
1.00	39	3.25	25	156			砂質土										12.4	> 120
1.00	25	3.50	25	100			砂質土										8.7	90.0
1.00	13	3.75	25	52			砂質土										5.4	61.2
1.00	81	4.00	25	324			砂質土										23.7	> 120
1.00	64	4.25	25	256			砂質土										19.1	> 120
1.00	11	4.50	25	44			砂質土										4.9	56.4
1.00	10	4.75	25	40			砂質土										4.6	54.0
1.00	13	5.00	25	52			砂質土										5.4	61.2
1.00	19	5.25	25	76			砂質土										7.0	75.6
1.00	22	5.50	25	88			砂質土										7.8	82.8
1.00	25	5.75	25	100			砂質土										8.7	90.0
1.00	65	6.00	25	260			砂質土										19.4	> 120
1.00	128	6.15	15	853		打撃	砂質土										59.1	> 120

※1 $N_c(\text{粘性土}) = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$ $N_c(\text{砂質土}) = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$

※2 $qa(Na=0)=30W_{sw}+0.6N_{sw}$ $qa(Na>0)=30+0.6N_{sw}$ (N_{sw} は150を上限としています)

試験結果

スクリーウエイト貫入試験 (旧スウェーデン式サウンディング試験)

[illegible]

※1 $N_c(\text{粘性土}) = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$ $N_c(\text{砂質土}) = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$

※2 $qa(Na=0)=30Wsw + 0.6Nsw$ $qa(Na>0)=30 + 0.6Nsw$ (Nsw は150を上限としています)

試験結果

スクリーウエイト貫入試験 (旧スウェーデン式サウンディング試験)

[illegible]

※1 $N_c(\text{粘性土}) = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$ $N_c(\text{砂質土}) = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$

※2 $qa(Na=0)=30Wsw + 0.6Nsw$ $qa(Na>0)=30 + 0.6Nsw$ (Nsw は150を上限としています)

試験結果

スクリーウエイト貫入試験 (旧スウェーデン式サウンディング試験)

[illegible]

※1 $N_c(\text{粘性土}) = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$ $N_c(\text{砂質土}) = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$

※2 $qa(Na=0)=30Wsw + 0.6Nsw$ $qa(Na>0)=30 + 0.6Nsw$ (Nsw は150を上限としています)

試験結果

スクリーウエイト貫入試験（旧スウェーデン式サウンディング試験）

物件名称		センチュリーシティ刈谷市泉田町2区画 様邸																	
調査場所		愛知県刈谷市泉田町大西51番1																	
測点番号		006			調査年月日		2024年06月01日												
高低差		KBM +0.32 m			最終貫入深さ		5.65 m				試験者		斉藤 正志						
水位		不明			天候		晴				試験方法		機械式						
荷重 Wsw (KN)	半回 転数 Na	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 (Nsw)	記事			推定 柱状図	荷重 Wsw(KN)					貫入量1m当りの半回転数 Nsw				換算 N値 Nc※1	許容 支持力 qa※2 (KN/㎡)
					音感・感触	貫入状態	推定土質		0	0.25	0.50	0.75	1	50	100	150	200		
1.00	3	0.25	25	12			砂質土										2.8	37.2	
1.00	5	0.50	25	20			砂質土										3.3	42.0	
1.00	4	0.75	25	16			砂質土										3.0	39.6	
1.00	7	1.00	25	28			砂質土										3.8	46.8	
1.00	11	1.25	25	44			砂質土										4.9	56.4	
1.00	12	1.50	25	48			砂質土										5.2	58.8	
1.00	10	1.75	25	40			砂質土										4.6	54.0	
1.00	29	2.00	25	116			砂質土										9.7	99.6	
1.00	44	2.25	25	176			砂質土										13.7	> 120	
1.00	20	2.50	25	80			砂質土										7.3	78.0	
1.00	13	2.75	25	52			砂質土										5.4	61.2	
1.00	11	3.00	25	44			砂質土										4.9	56.4	
1.00	25	3.25	25	100			砂質土										8.7	90.0	
1.00	48	3.50	25	192			砂質土										14.8	> 120	
1.00	28	3.75	25	112			砂質土										9.5	97.2	
1.00	9	4.00	25	36			砂質土										4.4	51.6	
1.00	45	4.25	25	180			砂質土										14.0	> 120	
1.00	72	4.50	25	288			砂質土										21.2	> 120	
1.00	19	4.75	25	76			砂質土										7.0	75.6	
1.00	6	5.00	25	24			砂質土										3.6	44.4	
1.00	6	5.25	25	24			砂質土										3.6	44.4	
1.00	44	5.50	25	176			砂質土										13.7	> 120	
1.00	126	5.65	15	840		打撃	砂質土										58.2	> 120	
														</					

※1 $N_c(\text{粘性土}) = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$ $N_c(\text{砂質土}) = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$

※2 $qa(Na=0)=30W_{sw}+0.6N_{sw}$ $qa(Na>0)=30+0.6N_{sw}$ (N_{sw} は150を上限としています)